

事業名 : 着物で楽しむ八木城跡殿屋敷

団体名 : 八木城跡町づくり会

1 事業内容

日時 令和5年10月22日(日) 午前10時 ~ 午後2時

場所 養父市八鹿町八木 殿屋敷ひろば

内容 各種イベント ステージ(篠笛、創作舞踊、城語り部、子供ダンス、和太鼓)

体験活動(茶道・書道体験)

地元出店(養父市内)・・・団体の寿司、柿即売、ケーキ、パン、軽飲物など

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
9月6日	打ち合せ	八木城交流館	16人
10月5日	打ち合せ、チラシ分け	八木城交流館	15人
10月13日	最終確認	八木城交流館	10人
10月17日	会場整備、草刈等	殿屋敷ひろば	11人
10月21日	準備	殿屋敷ひろば	20人
10月22日	出店、創作ダンス	殿屋敷ひろば	約400人
11月6日	反省会、会計報告	八木城交流館	10人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

コロナ禍により八木地区(上八木・中八木・下八木・向八木・今滝寺・畑ヶ中の6区)内の交流を制限されていたが、コロナウィルスが感染症法上の分類が「5類」に移行したことに伴い、八木地区(6区)が八木城跡をシンボルとして一体となって活動することができた。

会長を中心に各区長が連携してまちづくりを進めることができた。

(2) 地域への波及

①交流と文化の振興

- ・多くの区民が集まることで親睦が図れた。
- ・地元の文化グループの発表の場となった。

②地場産業の経済振興に繋がった

- ・地元の農産物(柿など)や食べ物をPRし提供することができた。(寿司ほか)
- ・地元の出店グループの活性化に寄与できた。(手づくり雑貨市)

3 協働の相手方

- ・養父市、老人会・・・イベント参加
- ・高柳自治協議会・・・運営補助、物品(机・椅子・ベンチ)の貸し出し

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

このイベントが地域とのつながりを深める（関連性を強化する方法）

国指定文化財八木城跡を地域で守り、「①歴史的な学び②環境の整備③交流と親睦」の3点から町づくりに活かしている。行事を精選して、皆で工夫して毎年新たな取組みを入れながら、無理の無いように進めていきたい。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

八木城跡をシンボルとして、八木地区の皆さんと一緒に楽しく地域づくりがすすめられるよう、様々な世代や立場の人の意見を取り入れて事業を実施していきたい。

特に、地の利を活かして、八木地区の子どもたちはもちろんのこと他地区の子どもたちにも体験的な活動ができるように環境を整備すること、また、ふるさとの歴史を知る機会を提供したい。



5年10月22日 ダンスの催し



5年10月22日 ダンスの催し



5年10月22日 和太鼓



5年10月22日 踊りの催し